

# ランドスケープデザイン

## デザイン科 ランドスケープデザインコース

TR テキストレポート科目 TW テキスト作品科目 TX テキスト特別科目 S スクーリング科目 GS 藝術学舎科目 WS Webスクーリング科目 必 必修科目 選 選択科目

※下記で紹介する科目は2018年度開講予定のものです。一部、変更になる場合があります。

## ランドスケープデザインコース専門教育科目

STEP①

幅広いジャンルで、ランドスケープデザインの基礎を学ぶ。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位 修得 試験	履修内容
<b>1年次</b>						
環境デザイン概論 [ランドスケープデザイン]	スターター	S	選	1		ランドスケープデザインコースの専門演習テキスト科目の進め方について解説と演習を行うガイダンス授業。
デザイン基礎1 (ランドスケープデザイン)	設計製図基礎	TW	必	2		設計に必要な製図用具の使用法や描法を学ぶ。トレースを通して基本的な製図技術を修得する。
デザイン基礎2 (ランドスケープデザイン)	樹木ファイル制作	TW	必	2		庭園設計や緑地管理に取り組むため、デザインへの応用力を身につける基礎として樹木の特性を知り、樹木図鑑を制作する。
環境デザイン演習 [ランドスケープデザイン] I-1	ランドスケープデザインファイル	TW	必	2		造園の歴史を通して、作庭の技術や技法、作家、専門用語について学ぶ。いくつかの用語についてはスケッチを行う。
環境デザイン演習 [ランドスケープデザイン] I-2	ランドスケープデザイン表現基礎	TW	必	2		多様な素材をスケッチすると同時に、影の描き方など3次元表現まで修得する。
環境デザイン [ランドスケープデザイン] I-1	ランドスケープデザイン総説	S	必	1		ランドスケープデザインの魅力・奥深さ、自然への関心・理解を深めるため、ランドスケープデザイン概論として専門を講義。また、樹木学基礎と樹木実習を行う。
環境デザイン [ランドスケープデザイン] I-2	日本庭園1 管理から日本庭園を学ぶ	S	必	1		日本庭園の様式と時代性など理解し、日ごろの管理による庭園の美しさの維持を庭園実習を通じて体感し、日本庭園の空間デザイン手法の基本を学ぶ。
環境デザイン [ランドスケープデザイン] I-3	風景デザインへの視点	S	必	1		里と農の風景は人のたゆまない営為によるものであることを理解し、その保全の意味について里と農の風景概論、多面的機能について講義と現地研修にて学ぶ。
環境デザイン [ランドスケープデザイン] II-1	設計1 製図基礎	S	必	1		身体感覚と設計時のスケール感を一致させることを目指し、手のひらや歩測などを用いた身体測で平面図および断面図を作成する。
環境デザイン [ランドスケープデザイン] II-2	設計2 ガーデンデザイン基礎	S	必	1		住宅とその庭をセットとし、平面デザインおよびガーデンデザインの基礎的手法を学ぶ。
環境デザイン [ランドスケープデザイン] II-3	模型基礎	S	必	1		模型制作の要点を修得し、空間感覚のスキルアップを目指し、課題図面に基づいて積層模型制作する。

さらに基礎を深めながら、応用力を身につけていく。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
2年次						
環境デザイン基礎1 [ランドスケープデザイン]	日本庭園と意匠	TW	必	2		庭園の基本的事項である作庭の立地・空間・意匠(デザイン)を考察し、庭園文化としての作庭の意味を考察する。
環境デザイン基礎2 [ランドスケープデザイン]	大地の創出	TW	必	2		美しい土地の模型を、指定した課題に基づいて積層模型として制作する。
環境デザイン演習 [ランドスケープデザイン] II-1	住宅庭園設計	TW	必	2		個人住宅とその庭の平面計画、植栽計画をデザインテーマの決定から設計のためのコンセプトの決定を経て、計画平面図として作成する。
環境デザイン演習 [ランドスケープデザイン] II-2	街区公園エコ・リサーチ	TW	必	2		街区公園の立地特性・地域特性などを調査し、公園の平面図を作成し公園の特性を理解する。ついで、エコロジーデザインの提案を行う。
環境デザイン [ランドスケープデザイン] III-1	プレゼンテーション基礎	S	必	1		取材に基づき美しくデザインされた企画構想シートを編集ソフトを使用しつつ制作する。
環境デザイン [ランドスケープデザイン] III-2	美しい大地の創出	S	必	1		積層模型を彩る表現(各種素材表現、樹木作成など)を修得する。模型技術を高め、階段・擁壁・簡単な建築物など含めたアースワークと地形デザインにおける模型表現を修得する。
環境デザイン [ランドスケープデザイン] III-3	日本庭園2 作庭から日本庭園を学ぶ	S	必	1		近代日本庭園の作家論を学び、あわせ造園実習を通じた実践的・身体的に空間構成・作庭技法などの作庭デザインへの理解を深める。
環境デザイン [ランドスケープデザイン] IV-1	設計3 すまいと庭のデザイン	S	必	1		建築およびガーデンデザインのトータルデザインをテーマとして、平面図・立体図・断面図・イメージスケッチを中心とした基本的な住宅建築およびランドスケープデザイン手法を学ぶ。
環境デザイン [ランドスケープデザイン] IV-2	里地・里山の構造と風景デザイン	S	必	1		農村にて現地研修し、風景構造の特性や創造について分析的観察を行ない、具体的・実践的な里と農の風景再生策のためのランドスケープ(風景)保全・創造について学ぶ。また、野生動物の生態と保護管理を学ぶ。
環境デザイン [ランドスケープデザイン] IV-3	設計4 町並み景観とポケットパーク	S	必	1		公共空間と私的空間の構成原理の相違点、制約と可能性について理解を深め、公共空間のプログラム力とデザイン力の修得を目指す。

## 調査から構想・設計デザインを学び、高度な段階へとすすむ。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
3年次						
環境デザイン演習 [ランドスケープデザイン] Ⅲ-1	都市のランドスケープデザイン	TW	必	2		周辺地域条件を勘案した都市公園の計画平面をブラッシュアップした改善計画などを提示。
環境デザイン演習 [ランドスケープデザイン] Ⅲ-2	都市・地方の再生	TW	必	2		都市部あるいは地方において保全したい美しい風景を見出し、現況整理・課題抽出・風景保全策の提案を行ない、構想平面図を仕上げる。
環境デザイン [ランドスケープデザイン] V-1	プレゼンテーション発展	S	必	1		単に風景といっても多くの要素の重ね合わせの上に成立している。各要素ごとに示されたレイヤーを重ねて俯瞰し、その風景の特長を浮き彫りにしつつ、風景の保全策などの構築へとワークショップ手法をとり入れ発展させる。
環境デザイン [ランドスケープデザイン] V-2	日本庭園3 日本庭園から ランドスケープを学ぶ	S	必	1		宮廷の庭・大名庭園について講義で学び、実際に庭園実習を通じて伝統的管理技術・作庭手法に触れ、現代におけるランドスケープデザインのあり方について考察する。
環境デザイン [ランドスケープデザイン] V-3	設計5 都市広場	S	必	1		自然の取り込み手法や、人々の交流の場作りについて学ぶ。企業ビルに近い部分に店舗・カフェなどを含む建物の広場デザインを行なう。親水空間のデザインも学ぶ。
環境デザイン [ランドスケープデザイン] V-4	設計6 都市公園	S	必	1		計画プロセス・設計提案など公共のデザインの視点、現地調査から現況分析・評価をし、コンセプトメイキング、動線、ゾーニング計画、計画平面図作成までを行う。
環境デザイン [ランドスケープデザイン] V-5	総合的造景	S	必	1		あるテーマをもとにプランニング・イメージスケッチとパースを完結させる。
環境デザイン [ランドスケープデザイン] V-6	都市・里の景観デザイン	S	必	1		地域計画概論としての観光論と再生手法を学び、具体的対象地について、大地の芸術祭など里山でのアートイベントや風景再生提案を構想シートとして制作する。

## 自分の感性を全開にして、社会にかかわるテーマに取り組む。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
4年次						
環境デザイン演習 [ランドスケープデザイン] Ⅳ	卒業制作中間報告/ 卒業制作最終報告	TX	必	4		卒業制作の進行とともに課題に取り組む。進行している卒業制作の諸問題を明確にし、教員の指導を受け、課題の分析評価を通し、コンセプトワーク、マスタープランの制作に取り組み、パネル等を最終成果物としてとりまとめる。
卒業制作		S	必	6		社会や地域の特性をつかみ、社会性・地域性をランドスケープデザインの視点から解明し、地域の未来を創造することを大きな共通テーマとし、卒業制作を行う。進行は個別指導とし、多様な制作を教員との議論を通して作り上げ、自分の思考・制作を深化させ社会へのメッセージとして展開する。

## コースからのスクーリング開講に関するお知らせ

土日を中心とした2日間の開講となります。1～4年次までの全ての科目を東京でも開講しますので、卒業要件に必要な単位を東京で開講するスクーリングだけで修得することも可能です。スクーリング科目(必修科目)は、事前課題に学習用Webサイト「airU」を利用するため、インターネット接続環境が整ったパソコンが必要になります。また、いくつかの必修科目ではノートパソコンの持参が必要です。